

福島第一原子力発電所構内における 給油所等の新設について

< 参 考 資 料 >
2 0 1 7 年 9 月 1 4 日
東京電力ホールディングス株式会社

【概要】

- ◆ 発電所構内に、構内車両等への給油を目的とした新しい給油所が完成。本日9月14日から運用を開始。
- ◆ 震災以降、発電所構内では簡易式の給油所を設置し運用していたが、このたび本設備の給油所として新しく設置したものの。
- ◆ 安全に多くの燃料を保管することができるようになるほか、給油関係作業における作業環境を大幅に改善することができる。

【新設の目的】

- 非常災害対応用にもなるガソリン・軽油を地下タンクでより安全に多く保管できる。
- 本設の給油設備による給油作業の効率化が図れる。
- 屋根付きとすることで作業環境を改善、安全な給油作業を実施できる。
- 給油時の動線がスムーズになり、安全性が高まる。
- 併せて発電所構内に保管している各種危険物油詰め替え設備を新設。各種危険物油を保管している容器の点検をするために、油の種類毎に抜き取り、一時保管・詰め替えをすることができるようになる。

完成した新構内給油所



● 給油設備

地下タンク容量 軽油：30kL×2基 ガソリン：30kL×1基
(参考：非常災害対応保有基準 軽油33kL、ガソリン5.8kL)



● 各種危険物油詰め替え設備

上左：詰替所 上右：注油所
下：屋外タンク30kL×8基

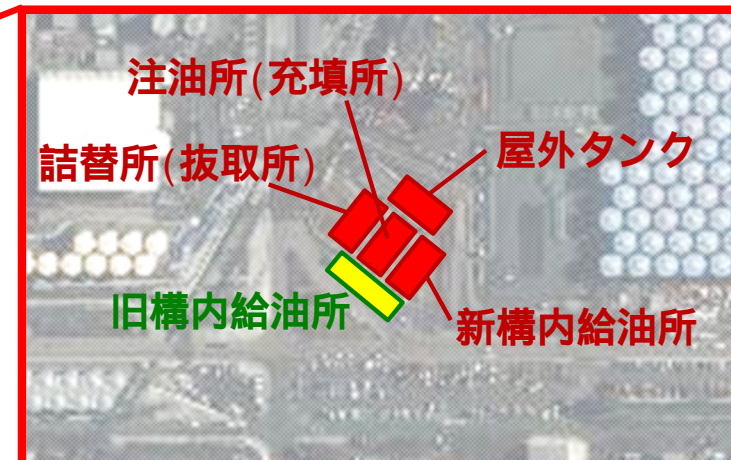
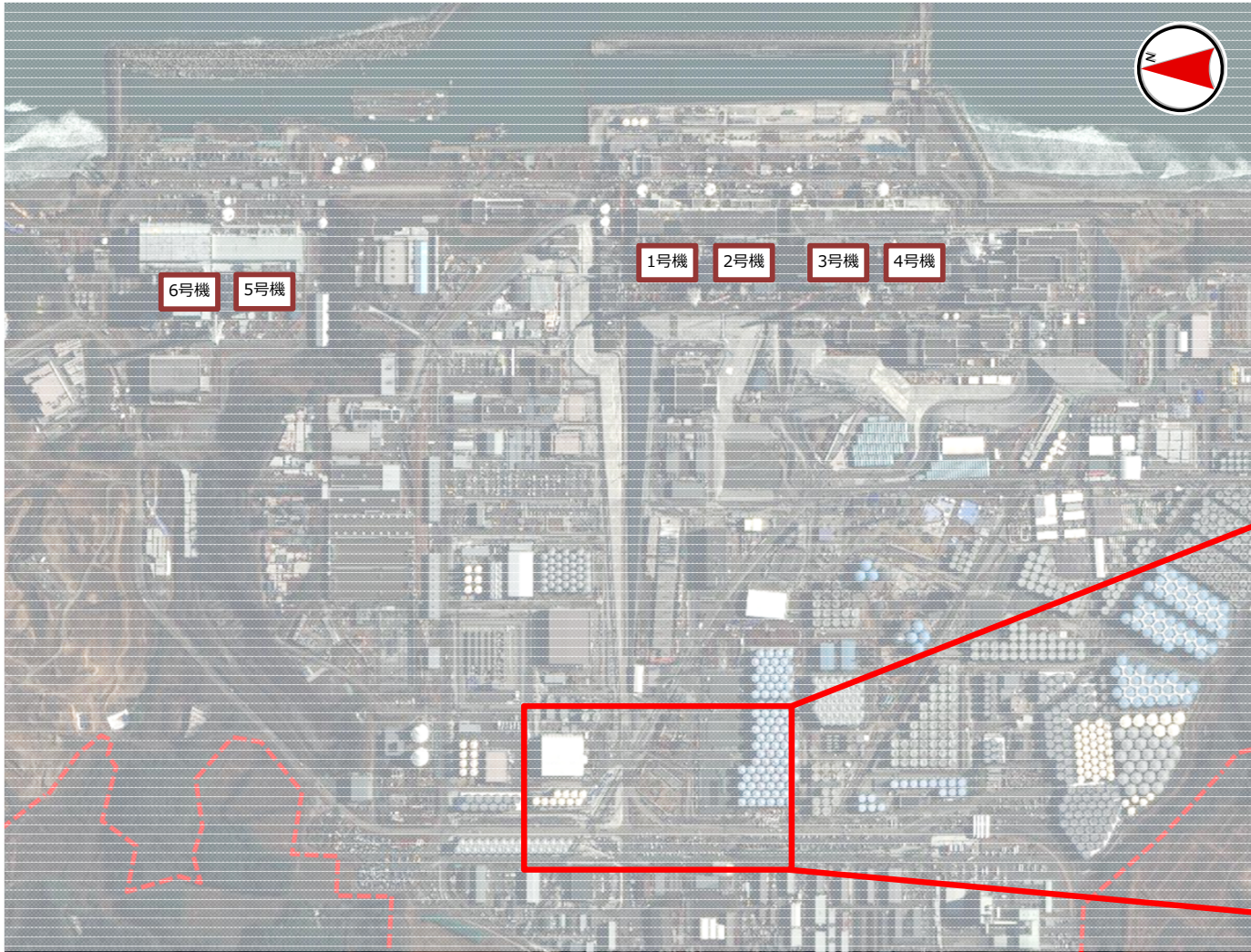
これまでの構内給油所



- 給油設備のガソリン・軽油のタンク容量はそれぞれ600Lであり、頻繁に補充（ドラム缶からタンクに注油）する必要があった。
- 屋根がなく、炎天下での作業であった。
- 特に大型車にとって難しい動線であった。



給油所の構内位置



提供: ©2016 DigitalGlobe, Inc., NTT DATA Corporation